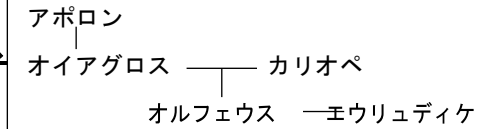


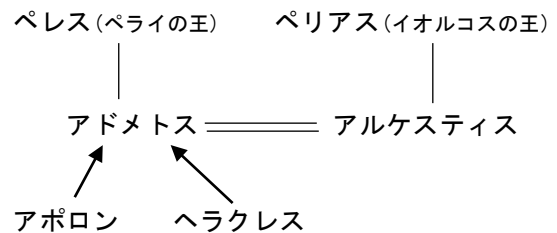
V. C 死別する夫婦 オルフェウス/アルケステイス



(1) オルフェウスとエウリュディケ

- ・オルフェウスの生い立ち：アポロン又はトラキア王オイアグロスを父とし、カリオペ(ムーサ女神のひとり)を母とする。
アルゴ船における活躍(とくにセイレンに対抗する歌唱：Ap. 63 末 4 - 2)
- ・妻を甦らせるために、ハデスとペルセポネを音楽で「説得(ペイト-)」した。
↳アルケステイスにおけるヘラクレスと対照せよ
Cf. アンピオン=木石をも動かす音楽家 (Ap. 128 末 1 - 129. 6)。ただしその妻は Niobe。
- ・妻を失ったのち、マイナデス(バッコスの信女たち)に引き裂かれる。
→Dionysos への侮辱? 女性たちへの侮辱? アポロンの「音楽」とディオニュソスの「狂乱」の対立?
- ・オルフェウスの頭はトラキアからレスボス島に流れ着く。
↳ Poet の島(アリオン、アルカイオス、サッポー)

(2) アルケステイスとアドメトス



- ・英雄アドメトス：アルゴ船の一員 (Ap. 57. 10)
カリュドンの猪狩り (Ap. 46. 1)
公正さ(もてなしのよさ) —— cf. アポロンとの付き合い (Ap. 147 末)
- ・アポロンの好意で運命女神から「死にそうになった時には、誰か代わりに死のうとする者があれば生き延びられる」という約束を得る。
- ・妻に死を肩代わりさせる —— 倫理的問題の余地あり
- ・妻の甦り —— ふたつのヴァージョン
 - ①ペルセポネが許す —— 完全な anomaly
 - ②ヘラクレスが(暴力で)連れ戻す
—— Alkest. がまだ冥界に辿り着いていない時点で連れ戻した(?)
Cf. エウリピデスヴァージョン

次回 山の神話

オリュンポス山 Ap. 33 末 5 - 1, 105 末 1 - 106. 1

Bulf. 23. 8 - 24. 6

イダ山 Ap. 181 末 8 - 末 3, Bulf. 274

オイタ山 Ap. 111. 3-9, Bulf. 202. 3